

# 夢そして目標は「甲子園」～野球と生活～

佐賀県立産業技術学院、山崎先生からのリレーを引き継ぎました竹村です。能開大先輩の山崎さんは、先輩といっても科の先輩でも、寮の先輩でもなく、全く共通するものはないのですが、不思議なつながりで大学時代からお世話になっております。当時から非常に面倒見がよく、お世話になりました。それぞれ佐賀と京都でお会いする機会がないのですが、ぜひ佐賀に行った際は面倒を見てください。

先生と呼ばれるようになって7年目を迎え、「先生」と呼ばれることにも違和感がなくなってきました。まさか自分が「先生」と呼ばれる職業に就くとは考えもしていなかった幼少時代。当時の夢は「プロ野球選手！」。

野球歴20年、現在も現役プレーヤーとして活躍しておりますが、野球で学んだこと、得られたものは計り知れなくあります。

小学校3年生から少年野球をはじめ、中学、高校と部活動に励み、大学時代は学生リーグに加盟し、毎週都内で学生会議に参加してリーグの運用を行っていました。（ここでは、少しは「能開大」の存在をアピールできたのでは……）

そして現在も現役続行中ではあるのですが、知人の紹介で高校野球の手伝いをさせていただくようになりました。高校野球の現場では「先生」ではなく「コーチ」。「コーチ」と呼ばれるようになって4年が経過します。

社会人になり、職場という集団の中での生活。社会人としての礼儀、マナーなど当たり前のようにやっていますが、「当たり前」と思える土台には、野球で学んだ礼儀やマナーがあったからだと思います。さまざまな経験を通して自分を成長させてくれたのは野球であり、特に高校野球では学んだことが大きかったように感じます。だから高校野球には特別思い入れがあります。

現在、1年を通してほぼ毎週末、ユニフォーム姿で高



校生たちと汗を流しています。高校の監督先生は、「人間的な成長なくしては、野球技術の向上はない」という考えのもと「あいさつ」「行動力」「(行動における)展開力」など技術的な指導以外にも厳しく指導されています。

私もコーチとして、選手たちに野球というものを通して私自身得ることができた「すばらしいもの」をたくさん伝えていきたいと思っています。

しかし、高校野球をやっている以上、目標は当然「甲子園出場」。29歳になっても目標は高校時代と変わりません。そのことを逆にうれしく感じますし、そういった環境をつくっていただいている高校現場の先生方、選手たち、そして妻に感謝しております。

◇

次のリレー先は、鳥取県立米子高等技術専門校の下田先生です。大学時代、共に野球部で学生リーグで「能開大」を世間に売り込んだ同期です。かなりのごぶさたなのですがよろしくお願いします。